

## 「平成21年度予算編成方針」部課長会議 市長あいさつ（要旨）

日時 平成20年10月9日（木） 9：00  
場所 市役所13階 大会議室

平成21年度予算編成に当たり、まず、私から基本的な考え方を申し上げますので、その基本的考えを十分考慮する中で、厳に予算見積りに当たるようお願いします。

具体的方針については、後ほど、財務部長から話がありますことから、私の方からは、基本的なポイントに絞って申し上げます。

本市の財政状況は、19年度決算では、退職金の増加や児童手当の拡充など、義務的経費が増加したものの、自主財源の根幹を成す市税収入が、3年連続の増加となったほか、行財政改革計画に基づく財政健全化の取組みの実践などにより、何とかプライマリーバランスの黒字を達成し、健全財政を維持できました。

しかしながら、今回策定した中期財政収支見通しでは、景気後退などにより、収入の根幹をなす、市税収入が減少に転じる見込みとなった一方、まちづくり戦略計画における施策・事業の本格化などにより、一般財源の不足額は、21年度から24年度までの4ヶ年で約213億円と、昨年の推計から111億円も悪化する見込みとなっています。

加えて、道路特定財源の一般財源化や地方交付税の動向など、財源確保は極めて不透明な状況であり、今後の財政運営は、これまでも増して厳しいものとなることから、地方分権の一層の推進への対応や、20年度からスタートした新たな総合計画の着実な推進を図るためにも、この財源不足は何としてでも解消しなければならないと考えています。

したがって、いろいろなやりくりをしながら財源不足を解消

このような状況を踏まえ、私からは、21年度予算編成に当たって留意すべき点として、ポイント3つに絞って、皆さんにお願いしておきます。

まず、1点目は、「たゆまぬ行財政改革の取組み」、改革の継続であります。

19年7月に策定した第4次行財政改革計画では、戦略的取組みとして、19年度から21年度までの計画期間内で、70億円の一般財源不足の解消を図る実施項目を掲げているところですが、

先ほども申しあげましたが、21年度から24年度までの中期財政収支見通しにおいては、当該計画に掲げる取組みを行ったとしても、約213億円の財源不足が生じることとなるため、来年度予算編成が非常に厳しい現状を十分に認識の上、まずは行革計画の取組みを確実に実践するとともに、職員一人一人の英知を結集し、行革計画を上回る取組みや、運営指針に掲げる方策を実施するなど、たゆまぬ行財政改革を進めていただくようお願いします。

2点目は、「刷新の気概を持つこと」であります。

これからの時代は、人口減少、少子・高齢化など、これまでの時代と大きく流れが変わってきております。

この流れの大きな変化に対応するため、皆さんには、常日頃から目的意識を持って仕事をしていただくとともに、「過去の延長線上に未来はない」との考えのもと、絶えず刷新していくことをお願いしたいと思います。

予算についても、行政の役割や事業の効果を十分に見極め、これまでの手法にとらわれず、廃止するものは廃止し、捻出した財源により新たな課題に対応していくような、「刷新の気概」を持った、大胆なスクラップ・アンドビルドを行うことが必要であると考えています。

これまでの事業の成果を検証し、市民のニーズを見極める中で、見直すべきところは見直し、推進すべきところはスピード感を持って積極的に取り組む、メリハリの効いた予算とするようお願いします。

3つ目は、「現場主義の徹底」であります。

「予算編成に徹底した現場主義を導入し、そのプロセスを公開すること」は、私がマニフェストに掲げ、市民にお約束した取組みのひとつです。

そもそも施策の立案に当たっては、部課長の皆さんが、できる限り、現場に出向き、現場を十分把握した上で判断すること、また、市民の皆様からの要望についても、直接、出向いでお聞きするということが大切と考えています。

また、そのことに加え、市民から行財政運営に理解と協力を得るため、積極的に情報を公開するとともに、説明責任を全うし、開かれた市役所づくりを進めていくことが重要と考えているところです。

以上、自己決定、自己責任の理念に基づく地方分権の一層の推進が求められる中、自主的・自立的な行財政運営が、従来にも増して求められていることを踏まえ、平成21年度予算の編成に当たっての心構えなどを申しあげました。

特に、お集まりの部課長の皆さん方には、リーダーシップを如何なく発揮され、既存の制度、慣習にとらわれず、職員の意識改革、行動改革を引き出し、より効果的、効率的な行政運営を念頭に、創意工夫を凝らしながら、厳しい財政状況の中ではありますが、本市のあるべき都市像「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」の実現に向けて、21年度予算が、市民にとって誇りの持てるまちづくりにつながるよう、職員一丸となって編成に取り組んでいただくことを強く望むものであります。